

2026 年度＜特定課題＞
先端技術と共創する新たな人間社会
募 集 要 項

共同研究プロジェクト
個人研究プロジェクト

募集期間 2026年 9月10日（木）
 ～2026年11月13日（金）15時（日本時間）

トヨタ財団の助成の基本的な考え方

トヨタ財団は下記の点を満たすものを助成の対象とします。

1. 社会的な意義が大きいこと
2. 内外の課題を先取りするものであること
3. 未来志向であること
4. 持続可能性、発展可能性があること
5. 波及効果が期待されること

目次

1. プログラムの趣旨	1
2. 助成の枠組み	2
助成分野	
助成期間	
助成金額	
助成の対象	
・共同研究プロジェクト	
・個人研究プロジェクト	
3. 応募について	3
応募期間	
応募言語	
応募方法	
事前相談・説明会	
応募にあたっての注意事項	
4. 選考について	4
選考方法	
選考基準	
選考結果	
5. 応募から助成終了までの流れ	5
6. その他	6
個人情報の取り扱いについて	
著作権について	



1. プログラムの趣旨

デジタル技術の進展と活用の急速な拡大は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックを契機に加速し、私たちの日常を大きく変化させてきました。そしていま、生成/生成系AIの出現によって、その流れはさらに広がり、多くの領域を巻き込むようになっていきます。そうした転換期の時代において、さまざまな現場で実践されるデジタルトランスフォーメーション(DX)を的確に捉え、法制度の遅れなどの制度的問題、人間の創造性への影響とかかわり、倫理的問題、新しいコミュニケーションなど、デジタル技術を取りまく諸課題に対応する研究プロジェクトが求められています。トヨタ財団では、未来を見据えた議論を積極的に展開し、先端技術と共創する社会を描く、独創的で野心的なプロジェクトを募集します。

尚、募集にあたっては、次のいずれか一つ以上にかかわるプロジェクトを助成の対象とします。

- 技術開発そのものではなく、先端的なデジタル技術と社会とのかかわりについて問うもの
- デジタル技術がもたらす変化に対し、ポジティブなものは活かし、ネガティブなものは克服し、人間のあり方を問うもの
- 新規性に溢れた発想で野心的に課題に取り組む若手研究者の育成、あるいは若手研究者らが議論する土壌をつくり実践していく先駆的な活動/場にかかわるもの

具体的な切り口としては、以下のような例を想定しています。

- ◆ 中長期視点に立ち、先端的なデジタル技術による社会的影響を学術的・理論的に考察する研究。特に、AI技術などをはじめとした、かつて人類が経験したことのない情報技術の飛躍的進展に関して、これまでの科学技術と社会とのかかわりと比較して何がどう異なるのかをマクロな視点から歴史的に検証する研究や、文理を超えて分野横断的に探究するもの、既存の制度的な枠組み等の課題と変革の方向性について考察するものなど。
- ◆ 先端的なデジタル技術の具体的な利活用に関する研究。デジタル技術を社会生活のなかで実際にどう活用できるか、現場での活動を踏まえて検証・提言を行うもの。いわば実践的な研究で、今まさに生起しつつある喫緊の課題に対処するもの。例えば、少子高齢化が急激に進む日本社会の将来に向けたデジタル技術の多様な活用。より詳細には、学校・教育現場での積極的な導入などが挙げられます。デジタル技術に適応していく人材育成やAIを用いた教育実践に限らず、AIではなく人間にしかできない能力の育成など、多角的な視点が想定されます。
- ◆ 研究者・技術者のネットワークづくりに寄与する活動。先端的なデジタル技術と社会とのかかわりを的確に捉えるために、理系と文系が問題意識を共有し両者が融合した成果を得ることを目指すもの。とくに若手を中心に、文理の垣根を超えた国際的な交流・ネットワークづくりを促進するもの。

本特定課題では、上記の視点にもとづく研究ならびに活動への助成を通じて、先端的なデジタル技術がもたらす社会変動を的確に捉え、私たちの社会をより豊かなものとすることを望んでいます。

2 助成の枠組み

◆ 助成分野

先端的なデジタル技術によってもたらされる社会的諸課題にかかわる分野

◆ 助成期間

2027 年 5 月 1 日から最長 3 年間（1 年間、2 年間、3 年間のいずれかを選んでください）

◆ 助成金額

総額：5,500 万円程度（共同：5,000 万円程度、個人：500 万円程度）

共同研究：1 件につき 500 万円～1,000 万円程度 個人研究：1 件につき 100 万円～200 万円程度

- * 企画書記載の「費目一覧」を参照し、対象となる範囲をご確認ください。予算の妥当性は、選考の重要な要素となりますので、プロジェクトの実施に必要な費用のみを積算し、計画を立ててください。プロジェクト運営における主要組織・団体の管理費も計上可能です。但し、管理費は予算総額の 10%を超えないこととします。
- * 従来、本助成では技術開発を主目的とするプロジェクトを対象外とし、機材購入等の予算を全体の10%未満に制限してきました。しかしながら、開発環境の進展やツールの普及により、技術開発を伴う研究がより身近になっていると考えられることから、2025年度より技術開発にかかわる制限を撤廃しています。但し、デジタル技術をめぐる社会的諸課題を扱うことなく、単なる試作・改良を目的としたものや営利目的のものは、引き続き助成対象外とします。

◆ 助成の対象

- (1) プロジェクト代表者の主たる居住地が日本国内で、且つ日本語で日常的なコミュニケーションがとれること。応募書類の受け付けは日本語のみとなります。
- (2) 先端的なデジタル技術を取りまく社会的諸課題の解決に資するプロジェクトであること。
- (3) 助成期間中は財団と連絡を密に取り、財団が主/共催するシンポジウム等に参加すること。

共同研究プロジェクト：

- ・ 2 名以上による共同研究プロジェクトで、代表者の年齢が助成開始時に 45 歳以下であること。ただし、若手を中心にさまざまな世代による協働プロジェクトを奨励します。その他、所属・経歴等は不問。
- ・ 文系と理系、研究者と実践者など、分野・領域を架橋するプロジェクトand/or 国際的な研究・活動に資するプロジェクトであること。設定した課題に対して、必要且つ適切な広がりをもつ分野・領域横断的なチームを形成すること。
- ・ 書籍、映像、シンポジウム等、研究成果を広く社会にむけて発信するための計画を立て、助成期間中に達成できるよう取り組むこと。

個人研究プロジェクト：

- ・ 助成開始時の年齢が40歳以下であること。所属・経歴等は不問。
- ・ 先端的なデジタル技術をめぐる諸課題に対し、若手研究者が独創的・野心的にアプローチする萌芽的研究プロジェクトであること。柔軟で新規性に溢れた発想に基づくプロジェクトを歓迎。（萌芽的/個人研究であることから）研究成果の発信/社会的還元への程度は問わないが、研究の社会的インパクトを意識し、個人の業績が主目的の企画内容ではないこと。共同研究等への展開が期待される将来性のあるプロジェクトであること。

3 応募について

◆ 応募期間

2026 年 9 月 10 日（木）～ 2026 年 11 月 13 日（金）15 時（日本時間）

* 応募期間終了後のお問い合わせには対応しかねますのでご了承ください。

◆ 応募言語

日本語

◆ 応募方法

以下のプロセスをご参照の上、トヨタ財団ウェブサイト上の〈特定課題〉「先端技術と共創する新たな人間社会」のページ (<https://www.toyotafound.or.jp/grant/advanced/>) よりご応募ください。

応募者情報の登録 (応募エントリー)	「先端技術と共創する新たな人間社会」ページ内の「応募について」にある【応募エントリー】ボタンをクリックし、応募者情報の登録を行ってください。
応募書類の作成	ご登録いただいた電子メールアドレス宛に応募者専用ページの URL が送信されます。「基本情報」はシステムより直接入力し、「企画書」(Word) は書式をダウンロードし、必要事項を記入して、応募書類を作成してください。
応募書類の提出	応募者専用ページより、「企画書」を送信（アップロード）することで提出が完了します。ご登録いただいた電子メールアドレス宛に、応募完了の通知が送信されます。通知が届いていない場合は事務局まで速やかにお問い合わせください。

◆ 事前相談・説明会

応募にあたって、当財団の担当プログラムオフィサーに事前相談をすることができます。ご希望の方は、コンセプトノート（書式自由 A4, 1-2 枚程度）をご用意の上、ウェブサイトのフォームからお申込みください。事前相談は、**2026 年 10 月 23 日（金）まで**とさせていただきます。

また、公募期間中、オンライン公募説明会を開催します。日時や申込方法などは、決定次第ウェブサイトに掲載します。

◆ 応募にあたっての注意事項

- ・ **電子メール、郵送、ご来所、FAX による応募は受け付けておりません。**
- ・ **基本情報および企画書の差し替えは受け付けられません。**送信前に必ずご確認ください。また、送信した基本情報および企画書のデータは、選考結果が通知されるまで必ず保管してください。
- ・ 応募書類を提出いただく際に、基本情報および企画書以外の資料は不要です。
- ・ 応募締め切り(2026年 11 月 13 日(金)15 時)の直前は、**回線が混雑し送信できない可能性**がありますので、お早めにご応募ください。
- ・ 応募書類の記載に虚偽または重大な誤りがあった場合、助成を取り消すことがあります。

4 選考について

◆ 選考方法

助成の可否については、外部有識者により構成される当財団「＜特定課題＞『先端技術と共創する新たな人間社会』選考委員会」（松原仁選考委員長・京都橘大学工学部教授）で選考を行った上、2027 年 3 月に開催される当財団理事会で決定される予定です。選考の過程では、必要に応じ、企画書の内容に関するヒアリング調査への協力をお願いすることがあります。

◆ 選考基準

- (1) 応募内容が、「トヨタ財団の助成の基本的な考え方」および、プログラムの趣旨と要件に合致しているか。
- (2) 実施内容と想定される成果の見通しが妥当且つ適切であるか。
- (3) 共同研究プロジェクトは、プロジェクトチームが多様な人びとによって構成され、円滑な実施と波及効果が期待できるか。
- (4) 個人研究プロジェクトは、若手研究者の育成につながるもので、デジタル技術にまつわる社会課題に対して独創的・野心的に挑もうとする萌芽的な研究プロジェクトであるか。

◆ 選考結果

選考結果については、2027 年 3 月下旬頃に応募時に登録していただいた電子メールアドレス宛てにお知らせいたします。電子メールが届かない場合、お手数ですが、当財団までお問い合わせください。

* 採否の理由等、選考に関わる内容に対してのお問い合わせには一切応じかねますので、あらかじめご了承ください。

5 応募から助成までの流れ

助成対象者は、定期的な報告に加え、当財団の担当者と密にコミュニケーションを取りながらプロジェクトを進めることが求められます。また、財団が主催/共催する研究会・報告会などにご参加いただくようお願いいたします。

応募から助成決定、助成期間終了までに必要な事項とその時期は、以下のとおりです。助成期間終了後も2～3年を目途に、当財団の助成の質を上げ、プログラムの改善などを行う目的で報告をお願いすることがありますので、その際はご協力をお願いします。



6 その他

◆ 個人情報の取り扱いについて

応募書類から得た応募者の個人情報は、選考・審査および統計資料作成、本人への連絡等事務作業に使用します。また、法令で認める場合を除き、本人の同意なく上記目的以外に使用することはありません。

◆ 著作権について

本プロジェクトを実施した結果作成された成果物の著作権は全て助成対象者に帰属します。ただし、助成対象者の同意を得られた場合には、提出された報告書またはその内容の一部をもとに、トヨタ財団が成果をとりまとめた出版物等を作成することがあります。

◆ 生成 AI の利用について

企画書作成における生成AIの利用は可能です。ただし、企画内容は申請者独自のものであること、また、著作権侵害や個人情報・機密情報の漏えい、虚偽やバイアスの混入といったリスクがあることを十分に理解したうえで、申請者の責任において適切に利用することが求められます。

【ご参考】トヨタ財団の他プログラム（2026 年度）のご紹介

- ・ 研究助成プログラム
- ・ 国内助成プログラム
- ・ 国際助成プログラム
- ・ 特定課題「外国人材の受け入れと日本社会」
- ・ 特定課題「人口減少と日本社会」

* 各プログラムについての最新情報は、トヨタ財団ウェブサイトをご覧ください。
<https://www.toyotafound.or.jp/>

お問い合わせ先

公益財団法人トヨタ財団

先端技術と共創する新たな人間社会 担当：加藤 寺崎 加賀

Email: society-tech@toyotafound.or.jp

TEL：03-3344-1701

※在宅勤務併用中につき、電話でのお問い合わせに対応できない場合があります。

ご連絡はできる限り電子メールでお願いします。

